OralStudio Meeting 2025

開催概要

開催：2025／10 ／ 11（土）・12（日）

会場：北海道大学 歯学部講堂

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。**第3回 OralStudio Meeting【多様化する歯科医療のエッセンスを掴み取る】**は、以下のスケジュールで開催いたします。なお、企業展示を併催予定です。

10月11日（土）　学術講演会：講堂　　企業展示：第一講義室

時間	ss	演者	所属	タイトル
9:30	開場			
10:00～11:00 （内 質疑10分）	1	**菅谷　勉 先生**	北海道大学大学院歯学研究院 難治性歯内・歯周疾患治療学分野 特任教授	垂直歯根破折とセメント質剥離破折治療の最前線
11:10～12:10 （内 質疑 10分）	1	**友清 淳 先生**	北海道大学大学院歯学研究院 歯科保存学教室 教授	歯内療法の成功率向上には何が重要か～根管形成の観点から～
12:10~12:50	ランチタイム（ランチタイムセミナー）			
12:50～13:30	2	**関 千俊 先生**	医療法人社団関輝会 関歯科医院	デジタルデンティストリ―の極み
13:30～14:00	2	**高崎 智也 先生**	医療法人 NATURAL TEETH	マイクロスコープとデジタルの融合
14:00~14:15	2	ディスカッション		
14:25~15:25 （内 質疑10分）	3	**黒嶋 伸一郎 先生**	北海道大学大学院歯学研究院 冠橋義歯補綴学教室 教授	超高齢社会におけるインプラント治療のパラダイムシフト
15:35～16:25 （内 質疑10分）	3	**小椋 正之 先生**	日本大学松戸歯学部 歯科医療管理学 教授、 株式会社デンタルアロー相談役	歯科保健医療を取り巻く状況
16:25~17:00	記念撮影・自由時間			
移動				
19:00～21:00	懇親会@ANAクラウンプラザホテル札幌			

10月12日（日）　学術講演会：講堂　　企業展示：第一講義室

時間	ss	演者	所属	タイトル
8:30	開場			
9:00～9:50 （内 質疑10分）	4	**澤田 乃基 先生**	北斗文化学園　学校長	医療と介護の一体化に貢献する外国人材～外国人が中心となる歯科衛生士の養成～
9:55～10:45 （内 質疑 10分）	4	**水谷 幸嗣 先生**	東京科学大学 歯学部 歯科総合診療部 講師	歯周MI治療で目指す歯の保存
10:45~11:00	コーヒーブレイク			
11:00～11:50 （内 質疑 10分）	5	**岩崎 正則 先生**	北海道大学大学院歯学研究院 予防歯科学教室 教授	歯周病をスクリーニングするということ
11:55～12:45 （内 質疑 10分）	5	**稲田 雅彦 先生**	エミウム株式会社 代表取締役、東京科学大学 統合イノベーション機構オープンイノベーションセンターアドバイザー	デジタルとAI技術が切り拓く歯科医療・歯科技工の未来地図
12:45~12:55	閉会の辞・記念撮影			

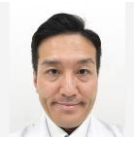
OralStudio Meeting 2025
2025.10.11

アブストラクト

菅谷 勉 先生

垂直歯根破折とセメント質剥離破折治療の最前線

垂直歯根破折やセメント質剥離破折による歯の喪失は今後も増加が予想されるが、いずれも早期診断と適格な治療により良好な予後が期待できる。垂直歯根破折では高周波治療器RootZX3を応用した根管内からの接着治療、セメント質剥離破折では早期の剥離破折片除去とリグロスによる再生治療が効果的である。



友清 淳 先生

歯内療法の成功率向上には何が重要か～根管形成の観点から～

歯内療法の成功率を低下させる因子として、複雑な根管形態、歯根の湾曲、象牙細管内への細菌の侵入、根尖孔外バイオフィルムの存在などが挙げられる。こうした因子の存在を「仕方ない」と諦めることは容易であるが、真摯に向き合うことで改善できる場合も往々にして存在する。本講演では、成功率向上へと繋がる根管形成の要点について考察する。

関 千俊 先生

デジタルデンティストリーの極み

現代の歯科医療は、急速なデジタル技術の進化によりかつてない変革を迎えています。本講演では、デジタルデンティストリーの最前線とその実際の臨床応用について掘り下げます。IOS、CAD/CAM技術、3Dプリンティング、AIによる診断支援など、最新技術の活用による治療の精密性向上や患者体験の改善について詳しく解説。さらに、デジタル化がもたらす効率化と持続可能な歯科医療の可能性についても。また、未来の歯科医療を担う方々へのメッセージとして、デジタル技術を活用しながらどのように革新を続けるか。「デジタルデンティストリーの極み」とは何かを感じて頂けると幸いです。

高﨑 智也 先生

マイクロスコープとデジタルの融合

マイクロスコープやデジタルの臨床応用に迷われている先生が多いと聞きます。私も導入するまで、皆さんと同じように悩みました。これから取り組みを検討したい先生、購入してもうまく使えていない先生に、私がどのようなステップで診療に取り入れてきたか、マイルストーンを共有させて頂きます。明日からの臨床のスパイスになれば幸いです。

黒嶋 伸一郎 先生

超高齢社会におけるインプラント治療のパラダイムシフト

インプラント治療は，機能性や審美性を回復できる予知性の高い補綴歯科治療術式である．一方，わが国は超高齢社会のフロントランナーであることから，インプラント治療にはパラダイムシフトが希求されている．本講演では，わが国の現状を理解するとともに，超高齢社会におけるインプラント治療のあり方を議論したいと思う．

小椋 正之 先生

歯科保健医療を取り巻く状況

先日、わが国の出生数が73万人を下回り、国の予測よりも15年早いペースで人口が減少していることが報道された。私の厚生労働省での26年の経験や知識などを踏まえ、超少子高齢化による人口や患者の変化、医療ニーズの多様化、歯科医療提供体制の変遷など、当日は歯科保健医療を取り巻く状況について概説する予定としている。

OralStudio Meeting 2025
2025.10.12

アブストラクト

澤田 乃基 先生

医療と介護の一体化に貢献する外国人材～外国人が中心となる歯科衛生士の養成～

医療と介護の複合ニーズを有する高齢者が増加している社会で「医科と歯科が連携する医療」がベースとなる「医療と介護の連携強化と一体的な提供体制の構築」が重要な課題なります。そこで働く歯科衛生士にも「タスク・シフト／シェア」、「医療と介護の一体化」に対応する人材がこれから必要があると考えています。当学園の取り組みをご紹介いたします。

水谷 幸嗣 先生

歯周MI治療で目指す歯の保存

近年、高齢者や有病者における進行した歯周炎の割合が増加しており、臨床現場では確実な歯周基本治療に加え、重度に進行した歯を保存するための最小侵襲の歯周外科治療が求められています。本講演では、歯周基本治療の要点を整理し、マイクロサージェリーやレーザー治療を含む低侵襲アプローチについて、実際の症例とエビデンスを基に概説します。

岩崎 正則 先生

歯周病をスクリーニングするということ

Global Burden of Disease Studyによると、2021年、世界で10億人以上の方が重度歯周病に罹患しており、2050年には15億人を超えると見込まれています。歯周病は公衆衛生上の大きな課題となっています。歯周病の早期発見、重症化予防に資する方法、そして、受診者に気づきの機会を提供し、行動変容できるように働きかけのできる方法、すわなち、歯周組織の健康状態を見える化し、健康意識を高めて行動変容を促す、効率的で簡便な方法の検討が長く続けられています。本講演では、歯周病スクリーニングのあり方について考察いたします。

稲田 雅彦 先生

デジタルとAI技術が切り拓く歯科医療・歯科技工の未来地図

人工知能(AI)は過去70年にわたり浮沈盛衰を繰り返し発展してきましたが、2022年から生成AI、LLMの出現により、AIの知能、精度がさらに大きく飛躍しました。歯科医療・歯科技工の在り方もさらに急激に変化することが想定され、これらの変化と影響について、人工知能、機械学習の専門でもあるエミウム株式会社稲田 雅彦氏が講演いたします。

■ 会場 アクセス：北海道大学 歯学部講堂

JR利用（紺色 矢印）
JR札幌駅下車、札幌駅北口より徒歩15分

地下鉄利用（赤色 矢印）
地下鉄南北線にて北12条駅下車、徒歩6分

北12条下車が最も一般的

- 地下鉄南北線 北12条駅下車
- 2番出口より地上へ移動
- 出口方向と逆方向（北側）へ向かう
- 2本目を左折すると正面に北13条門が見える
- 直進（北大の中へ）3分程度で右手に歯学部

学部玄関の守衛さんに会の参加をお伝えください。
講堂は歯学部2階です。

広域地図

拡大地図

■ 懇親会場 アクセス：ANAクラウンプラザホテル札幌

札幌市中央区北3条西1丁目2-9
▶ 札幌市営地下鉄 21番出口を出て 直進100m
▶地下1階あさひを予定

Oral Studio